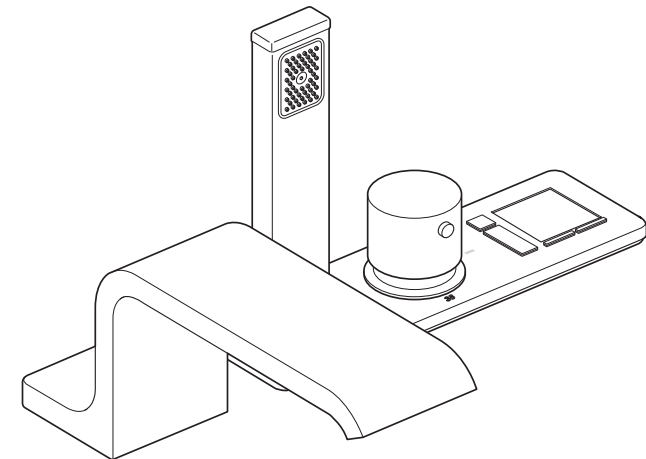


MODESSA

サーモスタットシャワーバス水栓(外観部)

TBXM1B型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。



1	安全上の注意	1 ~ 2
2	部品の確認	2
3	取り付け前に	3
4	仕様	3
5	完成図(例)	4
6	施工手順	5 ~ 9
7	試運転および設定	10 ~ 13
8	点検項目	14

1-1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は「分解禁止」を示します。
	は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

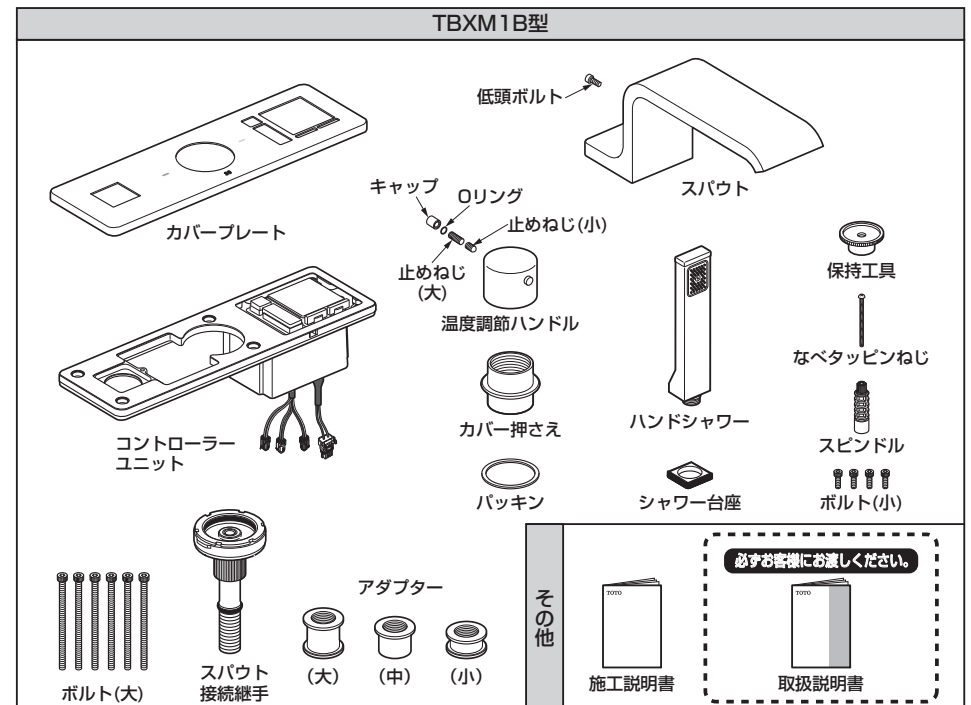
警告		
	給湯温度は85℃より高温で使用しない 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	85℃以下
	この説明書に記載された項目以外は分解・改造しない 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、必ず止水栓を閉めてから行う また、湯側フィルター部が熱くないことを確認する 高温の湯が出てやけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	止水栓 閉める
	目盛りどおりの湯が出るよう、必ず温度調節を行う 使用条件によっては目盛りどおりの湯が出ず、やけどをすることがあります。	あら

1-2

注意		
	強い力や衝撃を与えない 破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	屋外や凍結が予想される場所に設置しない 部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

2 部品の確認

次の部品があることを確認してください。



3 取り付け前に

1. 給水圧力の確認

- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 給水圧力範囲は、0.15～0.75MPaです。この圧力範囲内でご使用ください。
- 給水圧力が0.75MPaを超える場合、市販の減圧弁で0.2～0.3MPaに減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の水圧をおすすめします。

2. 配管・配線について

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 電源接続は、専用の電源ユニットと接続ケーブルをご使用ください。

3. その他

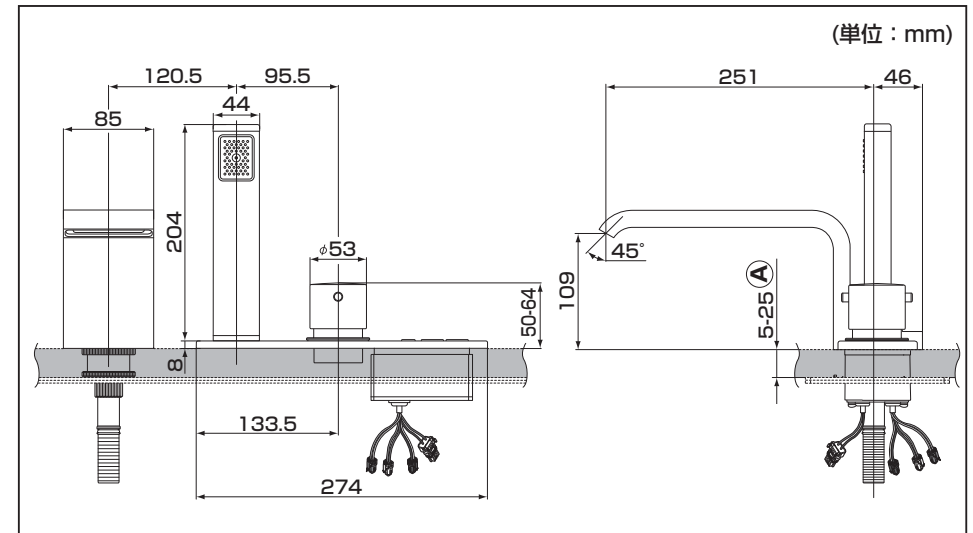
- 給湯温度は、使用する温度より10℃以上高く設定してください。
- 屋内用ですので、屋外では使用しないでください。
- 梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。
- 誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。

4 仕様

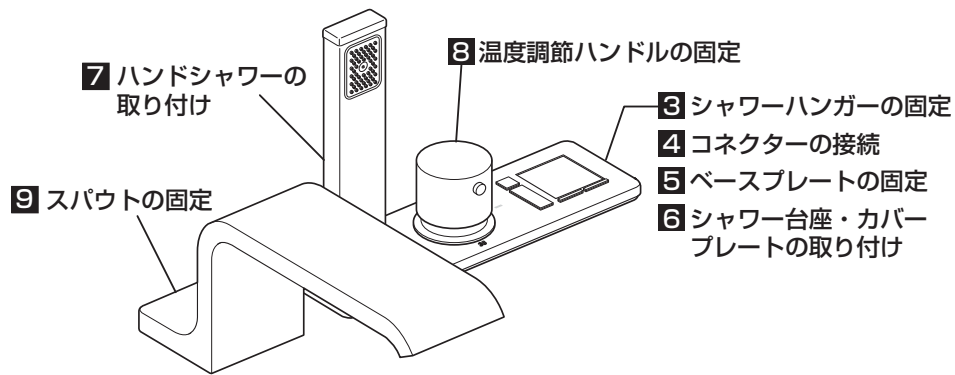
用途	パブリックおよび一般住宅浴室用	
使用範囲圧力	最低必要水圧	0.15MPa(流動時)
	最高水圧	0.75MPa(静止時)
	推奨水圧	0.2～0.3MPa
	減圧弁使用時	0.2～0.3MPa
使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水	
使用環境温度	1～42℃	
給湯温度	60～85℃	
吐水流量	スパウト	30L/分*
	シャワー	8L/分(小流量)*、12L/分(大流量)*
電源電圧	AC100V(50/60Hz)	
消費電力	動作時(最大)	9W
	待機時	5.5W
給水・給湯接続	G1/2	

* 定流量弁内蔵

5 完成図(例)



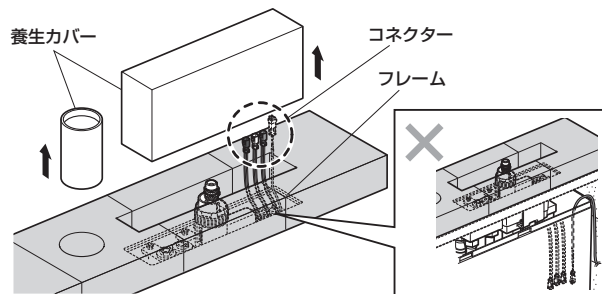
6-1 施工手順



1 養生カバーを外す

注意

コネクターがフレームより下に落ち込まないように注意してください。



2 タイルの厚み確認

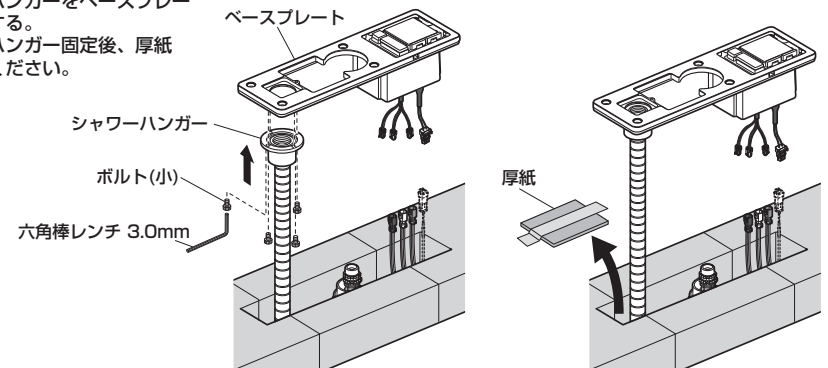
タイルの厚みから付属の交換部品を選択してください(下表参照)。
タイルの厚みにより、スピンドルとベタッピンねじの交換が必要な場合は、付属の保持工具を使用してください。表の太枠内は初期組付品です。

タイル厚み(A)					交換方法について	
スピンドル なベタッピンねじ						6-1 - 8 「温度調節ハンドルの固定」の交換要領を参照してください。
アダプター						6-2 - 9 「スパウトの固定」を参照してください。

6-2

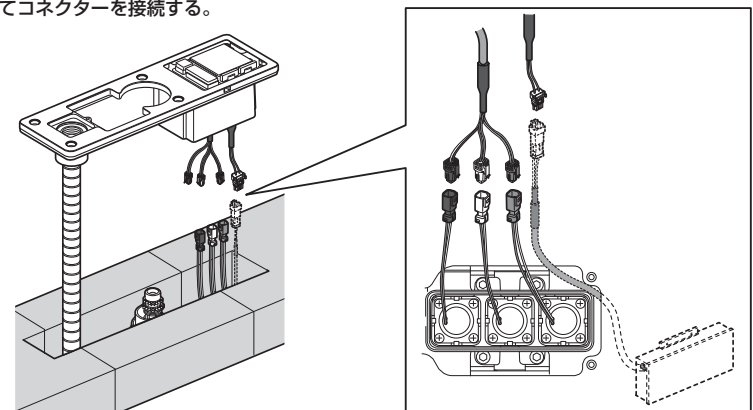
3 シャワーハンガーの固定

シャワーハンガーをベースプレートに固定する。
シャワーハンガー固定後、厚紙を除いてください。



4 コネクターの接続

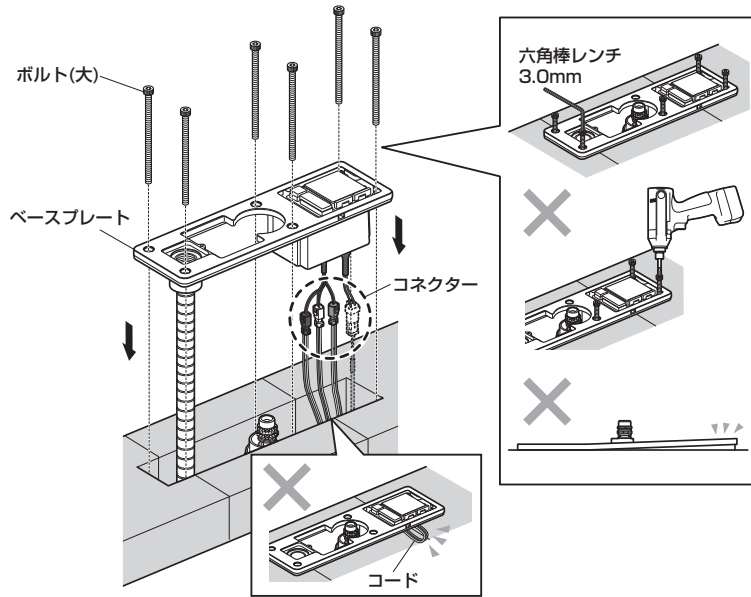
色を合わせてコネクターを接続する。



5 ベースプレートの固定

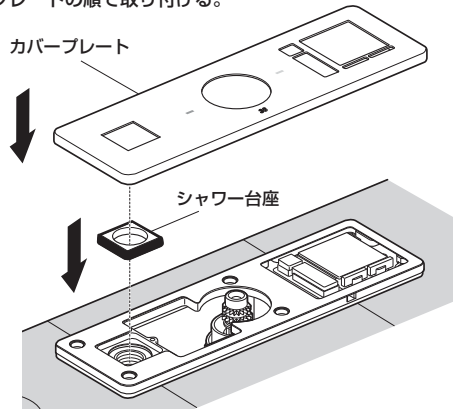
注意

- コードやコネクタのかみ込みに注意してください。
- ボルト(大)の焼きつき防止のため、電動ドライバーは使用しないでください。
- 反り防止のため、仮り締め後、本締めしてください。



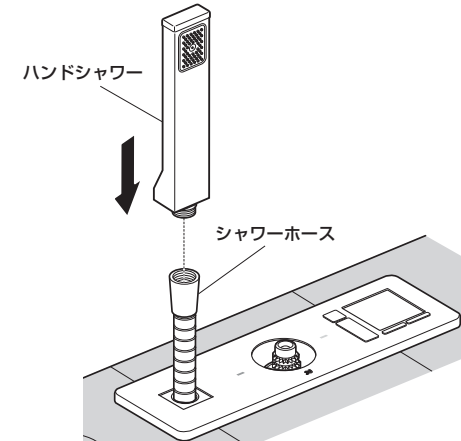
6 シャワー台座・カバープレートの取り付け

シャワー台座・カバープレートの順で取り付け。



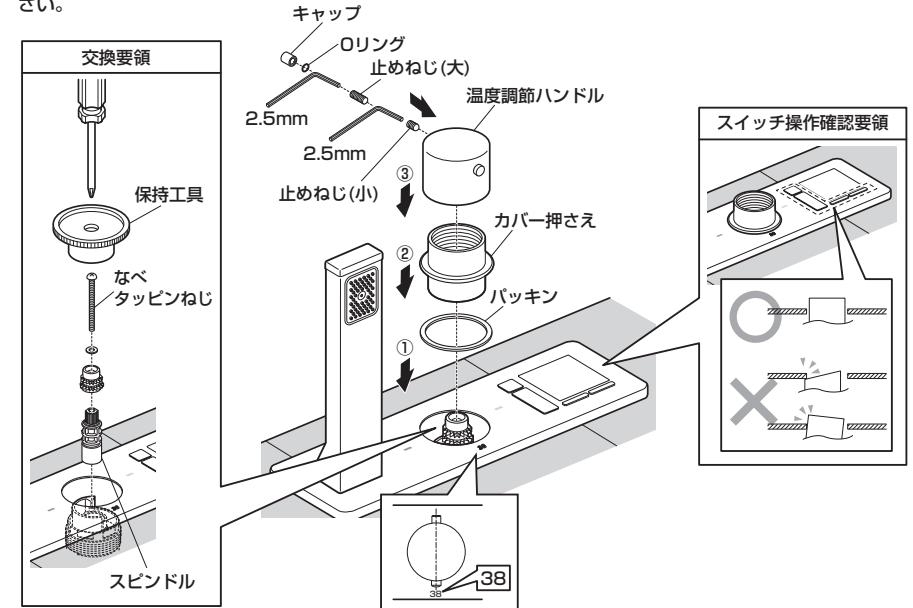
7 ハンドシャワーの取り付け

シャワーホースを引き上げ、ハンドシャワーを取り付ける。



8 温度調節ハンドルの固定

パッキン、カバー押さえ、温度調節ハンドル、止めねじ(小)、止めねじ(大)、Oリング、キャップの順で六角棒レンチを使用して取り付け。カバー押さえ取り付け後にスイッチが正常に操作できることを確認してください。

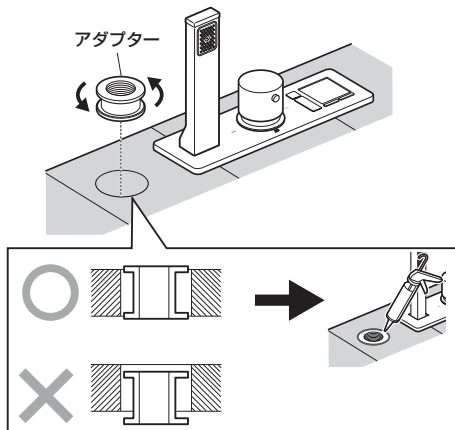


9 スパウトの固定

1 タイル厚みによりアダプターを選択して、取り付ける。
アダプターとタイルのすき間をコーキングする。

注意

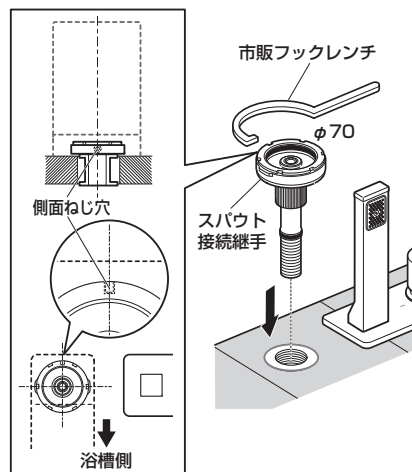
アダプターは左ねじです。
注意してください。



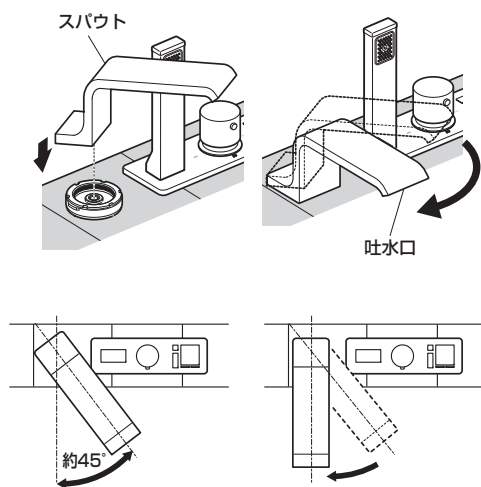
2 スパウト接続継手を取り付ける。

注意

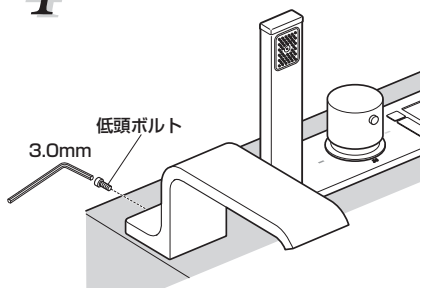
スパウト接続継手側面のねじ穴は、浴槽と反対の向きになるように調整してください。



3 スパウトを挿し込み、吐水口を正面(浴槽側)に向ける。



4 スパウトを固定する。

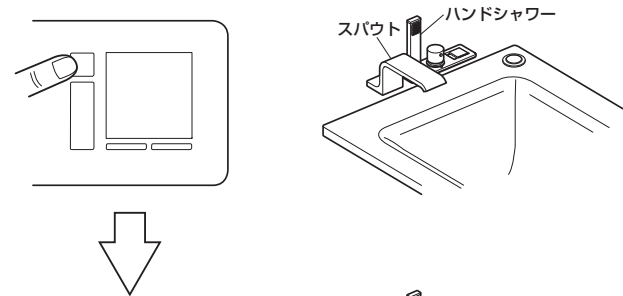


試運転および設定

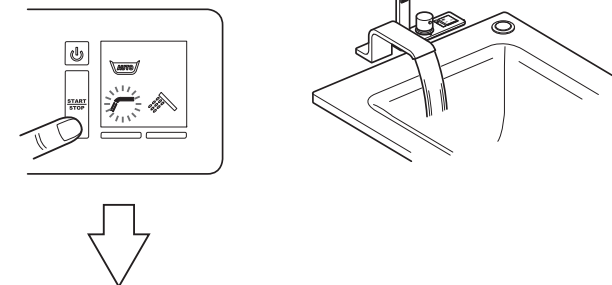
1. 試運転

スパウトおよびハンドシャワーから正常に水が出ていることをそれぞれ1分間確認する。

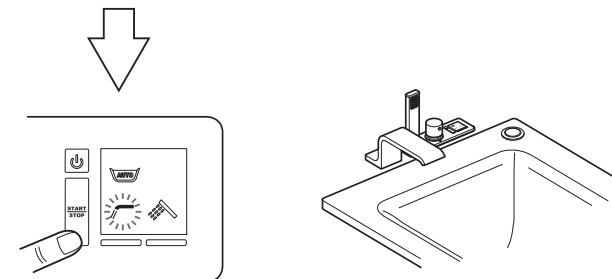
1. 電源を入れる。



2. START/STOPスイッチを押して、スパウトから水を出す。

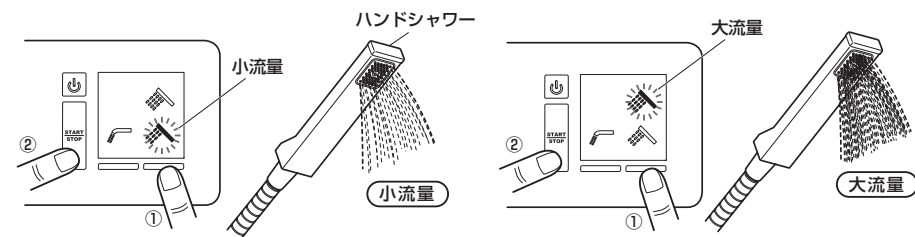


3. 1分後、再度START/STOPスイッチを押して、水を止める。



4. シャワースイッチを押し、シャワー小流量の絵を選択する。START/STOPスイッチを押して、ハンドシャワーから水を出す。

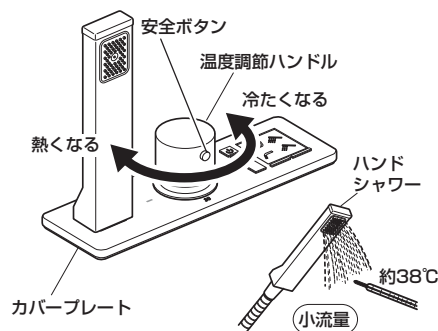
1分後、再度シャワースイッチを押し、シャワー大流量の絵を選択する。1分後、START/STOPスイッチを押して、水を止める。



2. 温度調節ハンドルの設定

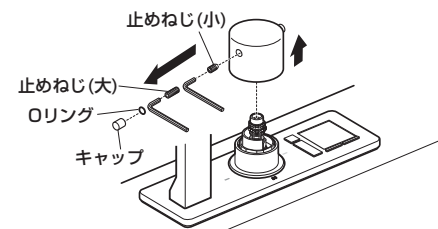
1. シャワー(小流量)を選択し、ハンドシャワーから水を出した状態で、温度調節ハンドルを適温(約38℃)の湯が出る位置まで回す。

温度調節ハンドルは、カバープレート表示の"38"付近でロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。



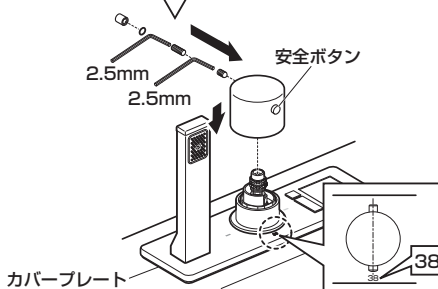
2. 温度調節ハンドルを外す。

温度調節ハンドルが回らないように注意してキャップ・Oリング・止めねじ(大)・止めねじ(小)の順に六角棒レンチを使用して外し、温度調節ハンドルを抜き取ってください。

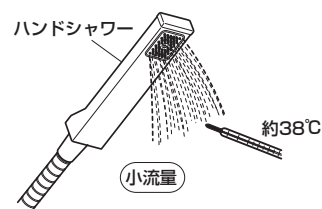


3. 温度調節ハンドルを取り付ける。

カバープレートの"38"表示と、安全ボタンを合わせて、温度調節ハンドルをはめ込み、止めねじ(小)・止めねじ(大)・Oリング・キャップの順に六角棒レンチを使用して取り付けてください。



4. 固定後に適温(約38℃)の湯が出ているか確認する。



3. フィルターの掃除

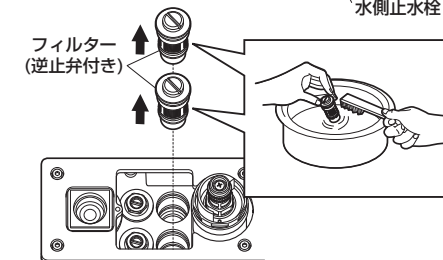
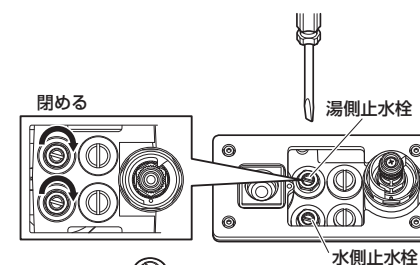
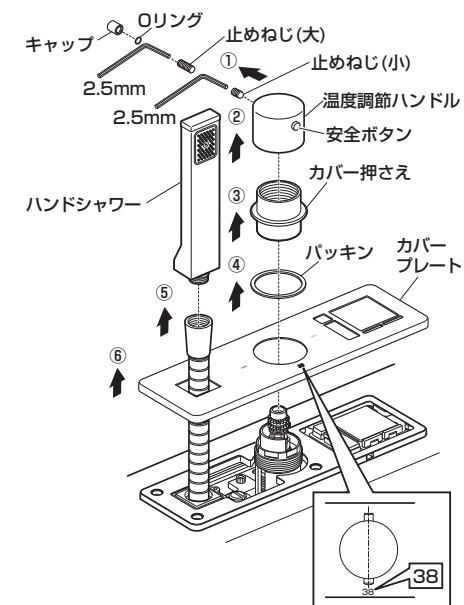
1. 温度調節ハンドルの安全ボタンをカバープレートの"38"の表示に合わせる。

2. キャップ、Oリング、止めねじ(大)、止めねじ(小)、温度調節ハンドル、カバー押さえ、パッキン、ハンドシャワー、カバープレートの順に六角棒レンチを使用して外す。

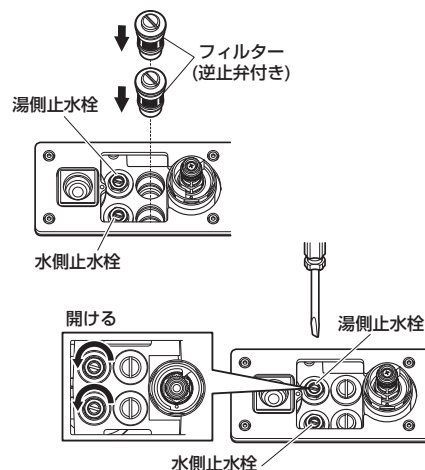
3. 止水栓(湯側・水側)を閉める。

※湯側フィルター部分が熱くないことを確認してください。

4. フィルター(逆止弁付き)を取り出し、フィルター部分に詰まったごみや汚れをブラシなどで取り除く。



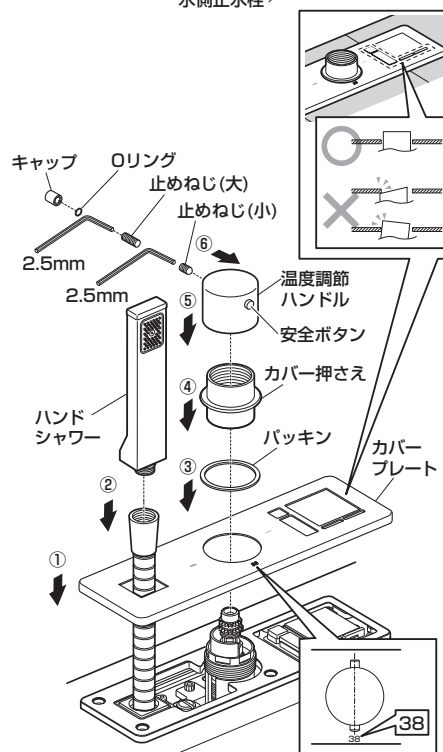
5. フィルター(逆止弁付き)を元の位置に戻す。止水栓(湯側・水側)を開ける。



6. カバープレート、ハンドシャワー、パッキン、カバー押さえ、温度調節ハンドル、止めねじ(小)、止めねじ(大)、Oリング、キャップの順に六角棒レンチを使用して取り付ける。

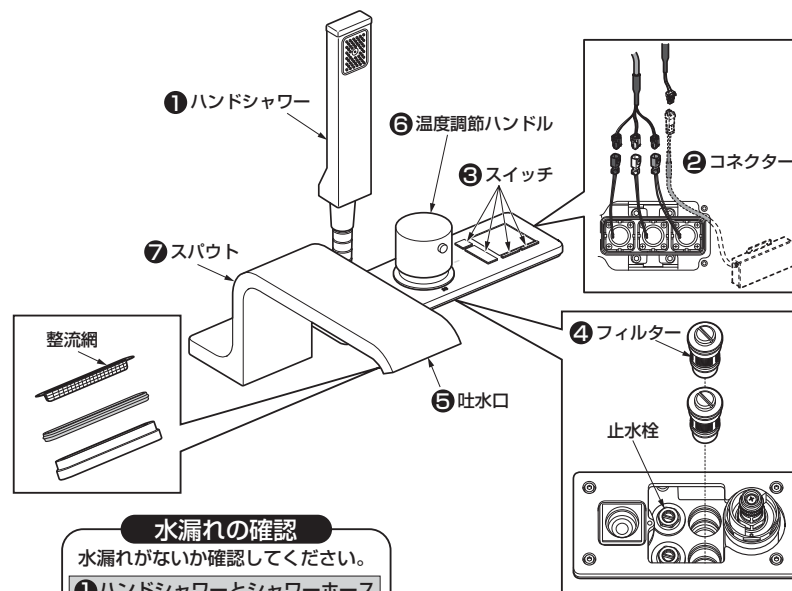
※カバー押さえ取り付け後にスイッチが正常に操作できることを確認してください。

※温度調節ハンドルは安全ボタンをカバープレートの"38"の表示に合わせてはめ込んでください。



7. 固定後に適温(約38℃)の湯が出ていることを確認する。

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

- ① ハンドシャワーとシャワーホースはしっかり接続されていますか？

↳ 6-4 - 7 「ハンドシャワーの取り付け」参照

コネクターの確認

各コネクターがしっかり差し込まれているか確認してください。

- ② 各コネクターはしっかり差し込まれていますか？

↳ 6-2 - 4 「コネクターの接続」参照

スイッチ操作の確認

各スイッチが正常に操作できることを確認してください。

- ③ 各スイッチは、正常に操作できますか？

↳ 6-4 - 8 「温度調節ハンドルの固定」参照

流量の確認

流量が少ないときは、次の項目を確認してください。

- ④ フィルターのごみ詰まりはないですか？

↳ 7-3 ③. フィルターの掃除参照

- ⑤ 吐水口のごみ詰まりはないですか？

↳ 吐水口の掃除をする。

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

- ⑥ 温度調節ハンドルや⑦スパウトのガタツキはないですか？

↳ 6-4 - 8 「温度調節ハンドルの固定」参照

↳ 6-5 - 9 「スパウトの固定」参照

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。再生紙を使用しています。